

令和6年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,060億87百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 1,010億13百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 5億62百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 124億22百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 203億6百万円	負債合計 1,134億35百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 91億56百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
うち、現金預金 33億76百万円	純資産合計 2,226億76百万円
資産合計 3,361億10百万円	負債・純資産合計 3,361億10百万円

資金収支計算書

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高	28億81百万円
本年度資金収支額	△2億69百万円
1 業務活動収支 (税収、補助金支出、職員給与等) 98億80百万円	
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等) △82億43百万円	
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還) △19億5百万円	
本年度末資金残高A	26億12百万円
前年度末歳計外現金残高	7億31百万円
本年度歳計外現金増減額	33百万円
本年度歳計外現金残高B	7億64百万円
本年度末現金預金残高(A+B)	33億76百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高	2,220億57百万円
当期変動額	6億19百万円
純行政コスト(▲)	△951億28百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等) 962億61百万円	
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等) △5億14百万円	
期末純資産残高	2,226億76百万円

行政コスト計算書

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】A	981億1百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用) 497億53百万円	
2 移転費用 (補助金等、社会保障給付、他会計繰出等) 483億47百万円	
【経常収益】B	39億16百万円
1 使用料及び手数料 19億63百万円	
2 その他 19億53百万円	
純経常行政コストC(A-B)	941億84百万円
1 臨時損失D 9億73百万円	
2 臨時利益E 30百万円	
純行政コスト(C+D-E)	951億28百万円

【4表の相互関係】

- ①「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- ②「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ③「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口194,313人に基づき算出)

- 資産 173万円
- 負債 58万4千円
- 行政サービスの提供 49万円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- 将来の世代の負担率 21.0%

●公共施設等の資産老朽化率 66.9%

●財政の持続可能性はどうか(業務・投資活動収支)

31億92百万円の黒字

業務・投資活動収支に関する情報

業務活動収支	98億80百万円
支払利息支出	4億42百万円
投資活動収支	△82億43百万円
基金積立収支	11億13百万円
業務・投資活動収支	31億92百万円

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・一般会計
- ・公園墓地事業特別会計
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計